



福建要望活動について

福建では毎年、会員の地位向上や処遇改善等について、関係団体へ要望活動を行っております。本年も12月4日(日)の土木部要望を皮切りに、関係団体や市町村長へ要望しました。

福建要望書の内容

福島県建設技術職員に関する要望内容

1. 土木部組織・機構の拡充について
 - 「技監」の継続設置
 - 「危機管理グループ」の新設
 - 地域保全グループ、都市施設グループ及び土木事務所業務グループの強化
 - 企画調整部門及び生活環境部門へ技術職員の配置拡大
2. 建設技術職員の適切な処遇及び格付けについて
 - 建設技術職員の適切な昇任昇格
 - 県北および県中建設事務所長の部長相当職格付け
3. 執務環境の改善について
 - 機構改革後の執務環境整備

市町村建設技術職員に関する要望内容

1. 建設技術部門の拡充と職員の適正な格付けについて
 - 建設技術部門の拡充について
 - 建設技術職員の適正な格付けについて
2. 各種技術講習会への職員の参加について
 - 技術講習会への参加及び参加旅費の確保

相双方部

市町村意見交換会を開催する

調査部の事業の一環として、昨年(2003)の11月25日・27日の両日双葉方部と相馬方部に分け担当係長レベルでの意見交換会を実施しました。議題は「県の行政組織が変わったことについて(本庁・出先)」や「福建事業への参加促進について」などで、多くの意見が交わされました。

参加者が係長及び担当ということもあり実務レベルでの意見が活発に出され、有意義な意見交換会でした。

双葉方部 (11月25日) 富岡合庁



市町村：13名 県：9名

相馬方部 (11月27日) 原町市役所



市町村：13名 県：11名

主な意見

「県の行政組織が変わったこと」

- ・ F Fで組織が変わっても、変わった感じがしない。責任の所在が判らない。席の配置表を見ても判らない。
- ・ 以前は都市計画と下水道が分かれており別々に協議したが、今は一緒に協議できるので同時に話ができるようになった。
- ・ 県は役場へは事業用地確保までで、工事になれば役場に寄らなくなる。こまめに寄って欲しい。
- ・ 組織改革では今までの流れが染みついているので、名前がもたついている。特に2～3ヶ月は電話の対応がもたついたようだ。
- ・ F Fになって決裁までの時間が早くなった感じがする。

「福建事業への参加促進について」

- ・ こういった会議を数年前までは各市町村持ち回りでやっていた。やることは良いことだ。若い職員を含めてやるのが良いのではないか。また、懇親する場があると話が盛り上がる。
- ・ 以前は福建でソフトボールで交流をしていた。そのため、福建会員は9名いたが年々少なくなっている。
- ・ 交流について、郡山・福島でやるのではなく地域でやれば参加が増えるのではないか。

今回の意見交換会を通じて、市町村職員と県職員とのコミュニケーションが不足していることを感じた。今後は、福建事業への参加促進をするために文化事業や発表会・現場見学会などの開催に加え、若手を含めた懇親会などで顔を覚える機会を増やし、仕事も今以上に仕易くなるようにしていきたい。



第10回 福建合同体育大会成績結果発表

去る11月8日(土)あづま総合体育館にて、第10回福建合同体育大会が開催されました。当日は曇り空で肌寒い中にも関わらず県内各方部から355名の会員及びその家族の方々が参加して、会員相互の親睦を図ることができました。

競技は、各方部チーム対抗戦で、「ストラックアウト」をはじめ、「綱引き」「百足競争」が行われ、接戦の末、南会津建設事務所管内チームが昨年に続き総合優勝を果たしました。準優勝は、同点によるジャンケン決戦を制した相双建設事務所管内チームでした。

また、アトラクションとしてウルトラクイズをはじめ、子供限定の宝拾い、「第10回記念」と称した女性限定の宝拾いも行われ、大いに盛り上がりました。

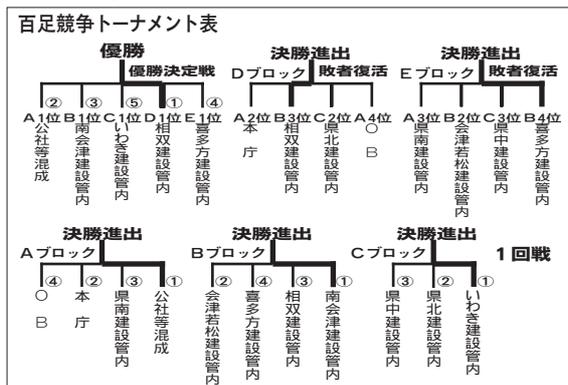
○総合成績表

総合成績	チーム名	種目別得点			合計
		ストラックアウト	綱引き	百足競争	
優勝	南会津建設事務所管内チーム	80	60	80	220
準優勝	相双建設事務所管内チーム	90	20	100	210
第3位	公社等混成チーム	100	20	90	210
第4位	県北建設事務所管内チーム	70	80	20	170
第5位	喜多方建設事務所管内チーム	60	20	70	150
第6位	OBチーム	20	100	20	140
第7位	いわき建設事務所管内チーム	40	40	20	100
"	県中建設事務所管内チーム	20	20	60	100
第9位	土木部本庁チーム	50	20	20	90
第10位	県南建設事務所管内チーム	20	20	20	60
"	会津若松建設事務所チーム	20	20	20	60

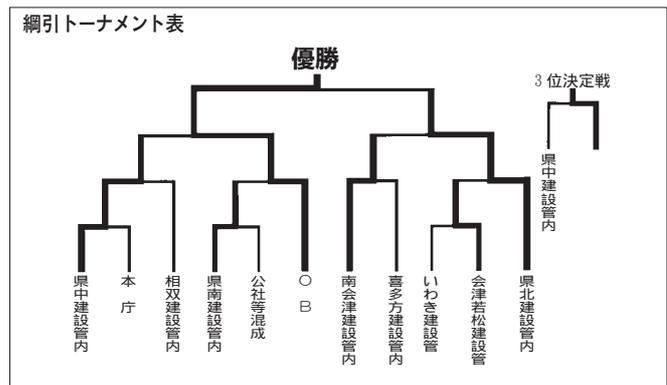
○ストラックアウト

総合成績	チーム名	得点
優勝	公社等混成チーム	60
準優勝	相双建設事務所管内チーム	47
第3位	南会津建設事務所管内チーム	29
第4位	県北建設事務所管内チーム	28
第5位	喜多方建設事務所管内チーム	26
第6位	土木部本庁チーム	25
第7位	県中建設事務所管内チーム	23
第8位	いわき建設事務所管内チーム	22
第9位	県南建設事務所管内チーム	20
第10位	会津若松建設事務所チーム	11
第11位	OBチーム	7

○百足競争



○綱引き



個人賞

優秀選手賞

- ストラックアウト: 滝田 久満 (公社等混成チーム)
- 綱引き競技: 佐藤 眞夫 (OBチーム)
- 百足競争競技: 小玉 博史 (相双建設事務所管内チーム)

敢闘賞

- 松川 行二 (県北建設事務所管内チーム: 飯野町)
- 神谷 順一 (公社等混成チーム)
- 松本 和子 (相双建設事務所管内チーム)

個人特別賞

- 一條 聡士 (いわき建設事務所管内)
- 青木 勝則 (県中建設事務所管内: 郡山市)
- 羽生 久美子 (県南建設事務所管内)
- 矢野 善民 (喜多方建設事務所管内)
- 斎藤美樹子 (本庁チーム)

ウルトラクイズ優勝

- 星 愛子 (南会津建設事務所管内)



事業部から

A: 綱引きの某チームの奮戦ぶりには驚かされた。実は、決勝の前に、某チームから「決勝も1本引きにしてくれ」と申し入れがあって、「ルールですから」と断った。結果は、体力不足を補う短期決戦、2本先取作戦がうまくはまって堂々の優勝だった。

B: 百足競争で優勝した某建設事務所管内チーム。「敗者復活戦に回ったおかげで1回多く走ることができて、決勝では息がびびりあった」と某所長。

事業部の今年度のテーマは、「県会員と市町村会員の交流促進」です。このため、市町村会員が参加しやすい事業のあり方を検討しています。今年度は、一つの試みとして、ボウリング大会を中止し、方部別親睦事業の充実を図ることとしました。

市町村会員の皆様の積極的な参加で方部別親睦事業を盛り上げ、これまで以上に会員相互の親睦を図っていただければ幸いです。